

幼児教育保育学科

幼児教育保育学科の学修成果		
本学科の卒業生は、幅広い教養をもとに幼児教育保育学に関する専門知識・技能・情報リテラシーにもとづく問題提起・解決能力、表現力、コミュニケーション力を獲得し、幼児教育・保育分野で活躍できる能力を有します。		
ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
幼児教育保育学科を卒業するためには、次のような知識や能力、資質を身に付けていることを求めます。 【専門知識と教養】 子どもの育ちを支えるために必要な教養と、子どもの心身の発育と発達についての専門知識を備え、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力 【専門性を活かす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力 【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者を理解し、相談援助ができる能力 【表現力・コミュニケーション力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション力	幼児教育保育学科では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような特色あるカリキュラムを編成しています。 【学科全体の特色】 ●乳幼児期から青年期にあたる子どもたちの理解に必要な、基礎的な知識を理解するための科目を配置しています。 ●幼児教育や保育に関する知識をさらに深く理解するために、必要な専門科目を体系的に配置しています。 ●幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を取得し、現場に必要な実践的スキルを修得するための、演習、実習科目を配置しています。 【各コースの特色】 ●2回生配当科目として、教員の専門性を活かした内容で展開されるコースを設け専門演習科目を配置しています。自分の興味関心にもとづいて選択できるようにしています。 ●子どもの表現コース 保育に必要な「造形」「音楽」「運動」について詳しく学び、運動と表現系の保育について深く学ぶことで、幅広い保育実践力を身に付けることを目的としています。 ●子ども理解コース 保育の基本である「子ども理解」を深めるために、子どもの発達や心理、個に応じたかかわりなどについて深く学ぶことを目的としています。	幼児教育保育学科では、次のような資質や能力を持っている入学生を求めています。 【求める学生像】 ●子どもや子どもを取り巻く伝統や遊び、文化について、興味があり理解したいと考えている人 ●子どもの育ちを支える保育や教育、福祉に、興味があり理解したいと考えている人 ●保育や教育、子どもの福祉に関わる仕事に就くことで地域に貢献したいと考えている人 ●幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を取得したいと考えている人 ●様々な背景を持つ人との関わりの中で、温かい心で他者を理解することに努めながら、冷静に自分の思いや考えを表現し、円滑なコミュニケーションを図る努力を怠らない人